

【 原則 】

偏心率を改善させながら、補強を行う(剛心を重心に近づける)

【 推奨設置箇所 】

1. 上部直下の壁を優先する
2. 押入・収納・納戸など解体・復旧のしやすい場所
3. 部屋単位にまとめる
4. 連続した壁にする

【 避けたい設置箇所 】

風呂場:基礎がブロックやコンクリートの高基礎となっている事が多いため

キッチン:流し台などの脱着が必要となる可能性が高いため

トイレ:便器の脱着が必要となるため

洗面所:洗面台の脱着が必要となる可能性が高い

床の間・書院:復旧の手間がかかるため

縁側・面積が算入される出窓

オーバーハングしている壁

、 を補強する場合には、原則として水平構面を併せて補強する

【 設置不可の箇所 】

面積に算入されない出窓 (基礎がなく構造材も一体性がない)

階段下の収納 (横架材がない可能性が高い)

